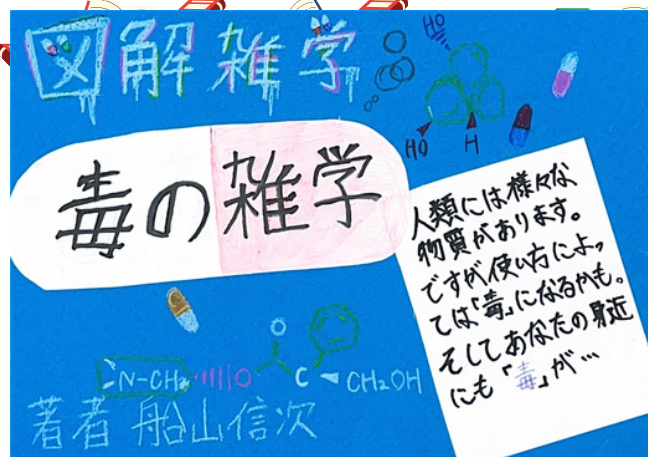


6月号
2026.6.10

水高図書館だより

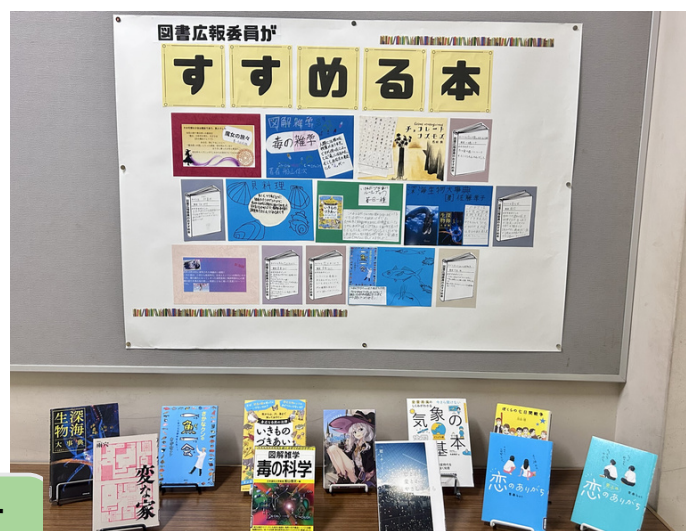
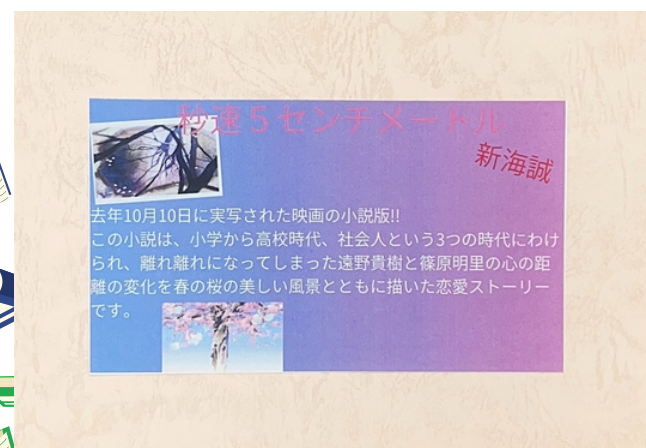
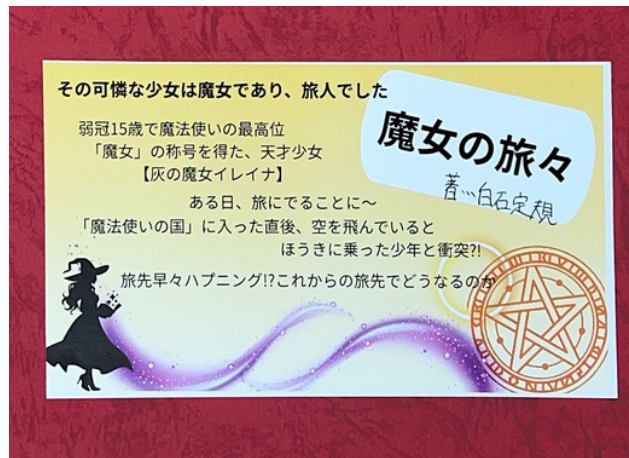
怒濤

水高蔵書検索
カーリル



図書広報委員が

すすめる本



図書館前に展示中です

裏面は新刊紹介



リクエストは
こちらから

新刊紹介

『夜明けのハントレス』 川崎秋子 文藝春秋



札幌の大学に通う女子大学生の岸谷万智（マチ）はある日、彼氏の家で狩猟雑誌を目にする。何気なく開いたその雑誌に妙に惹かれるものを感じたマチは、大学近くに銃砲店を見つけ、行ってみることにした。そこで猟友会所属の新田というベテランハンターと出会い、新人ハンターとしての歩みがスタートする――。

近年、クマの目撃情報や人的被害が毎日ニュースになり、ハンターにも注目が集まっています。狩猟免許取得までのハードル、自然と人間、クマとヒト、狩猟の入り口になる小説です。

『ビブリア古書堂の事件手帖V ～扉子と謎めく夏～』三上延 KADOKAWA



ビブリア古書堂の娘が開く、謎への扉――。その夏、不在中の両親に代わり、ビブリア古書堂を任された少女。美しい女店主とよく似た顔立ちで、本への好奇心と洞察力も母親譲り。だが異なるのは表情豊かで物怖じしないその性格。特殊な依頼に首を突っ込まぬよう少女の監視役を任された少年は、持ち込まれた古書に秘められた謎を、少女が鮮やかに解き明かしていく姿を目の当たりにする。

シリーズ刊行15周年を記念して2027年アニメ放送が決まっている作品の待望の新刊です！

『一晩置いたカレーはなぜおいしいのか―食材と料理のサイエンス―』

稲垣栄洋 新潮社



一晩置いたカレーはなぜおいしいのか？ 子どもたちはどうしてピーマンが嫌いなのか？ フサビがツーンとする理由は？ 味、食感、香り、栄養素……すべての謎を解くカギは、食材が生きていたときの姿にあった！ 研究者の鋭い考察と、料理や食事が楽しくなる「おいしさの秘密」をご賞味あれ。ジャガイモを煮崩れさせない方法など調理の裏ワザも多数紹介。

『「ガチャ時代」のやりたいことの見つけ方』 川村哲也 教学社



スマホを置いて、しっばいしよう！ 進路に悩む、すべての高校生に送る、生き方のヒント
＼ 進路に悩んでいる、高校生へ ／

親ガチャ、クラスガチャ、担任ガチャ……引くガチャはどれも「ハズレ」ばかり？

「やりたいこと」や「行きたい大学」が見つからず、そもそも何をしたらいいかもわからない、そんな日々を過ごしていませんか？

モノや情報に溢れ、目まぐるしく変わっていく社会で、自分の人生を「アタリ」にするための、生き方のヒントをお届けします。

『本なら売るほど1～3』 児島青 KADOKAWA



人生の傍らには、いつでも本があった。

年若いひつつめ髪の店主が営む、街の小さな古本屋「十月堂」。

棚作りに工夫を凝らしたり、厄介な来訪者に悪戦苦闘したりしながら、今日ものんびり営業中です。

「マンガ大賞 2026」大賞！ 読めばきっと、誰かと本の話がしたくなる。実際に出版された本が登場するので読んでみたくなります。